慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	川合, 隆男(Kawai, Takao)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1994
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.67, No.12 (1994. 12) ,p.445- 445
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	内山秀夫教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19941228-0445

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

内山秀夫教授は選択定年制によって平成六年三月末日を以って、慶應義塾大学法学部をご退職された。現在も客員教授として三田に週に一度ご出講なされた折に内山さんにお会いする機会も多いが、いざ『法学研究』のご退職記念号の編集後記をしたためる段になると、まさに「戯去戯来」とはいえさまざまに万感の思いが交錯する。

内山秀夫さんは、昭和三六年に法学部に残られて以来ご退職まで、三五年近くの間学部内外・大学内外で広く活躍なされてこられた。わたくしの如き少し年下のものにとっては東京の「下町」に生まれ育ち戦後の焼け跡、闇市を嗅ぎ分けくぐり抜けてこられたいささか勇み肌の兄貴分という感じが抜けないのだが、わが国の高等教育の新たな転換期、現代日本の激動期の種々困難な時期において、ひとりの人間として、ひとりの学究として、ひろく発言し、また学部や大学、学会等での教育・研究・運営の上で御活躍し御指導下さった。塾の通信教育部、学生部大学生活懇談会、福澤研究センター等で大いにご尽力いただいたことも記憶を新たにするところである。平成六年四月より新設の新潟国際情報大学学長に就任された。大学新設の苦悶苦闘をにこりと笑ってみせる内山さんの新しい門出をさわやかに祝福したい。

内山秀夫教授の定年退職に際し、内山教授へのわれわれのささやかな謝意として、ここに本誌第六十七巻十二号――記念号を献呈する次第である。この記念号発刊に直接間接にお世話いただき御協力いただいた方々に心よりお礼を申し上げたい。法学部長の「序文」をはじめ、最終的に計十七編の論文を寄稿いただき、記念号を飾ることができた。学問の場・組織にかかわる者の一つ一つの大事な節目として、ささやかながらも退職記念論文集を編集する機会に恵まれたことにも感謝したい。内山教授の長年にわたる御活躍と御苦労に深謝し、ここに記念号を編集し、編集後記を記す次第である。

内山秀夫教授の御退職を記念しつつ、今後とも、ますます御健勝であられますように、われわれ後進に御教示、御鞭撻下されますように、心よりお願いしたい。

平成六年十二月

法学研究編集委員会　川合隆男